



報道機関 各位

## 世界糖尿病デー2017 東京駅で糖尿病啓発広告を展開

2017年11月6日

公益社団法人日本糖尿病協会

公益社団法人日本糖尿病協会（理事長：清野裕／関西電力病院総長 所在地：東京都千代田区）は、11月14日の世界糖尿病デーを含む11月6日（月）～19日（日）の14日間、東京駅構内で糖尿病の啓発広告を展開します。

今回の啓発広告は、東京駅丸の内口上部にある「TOKYO-MARUVISION」と、同駅八重洲口の「JADビジョン」にて、15秒間の動画を流すもので、大正富山医薬品株式会社のご協力を得て実施します。

## 「世界糖尿病デー 東京駅啓発広告」概要

| 掲載スペース           | 場所                   | 期間               | 掲出面数 |
|------------------|----------------------|------------------|------|
| TOKYO-MARUVISION | 東京駅丸の内駅舎<br>南口・北口ドーム | 11月13日（月）～14日（火） | 8面   |
| JADビジョンCentral   | 東京駅八重洲口<br>南北通路・北通路  | 11月6日（月）～19日（日）  | 55面  |

広告では、日本糖尿病協会マスコットキャラクター「マールくん」が、世界糖尿病デーの告知と糖尿病重症化予防のための早期受診を訴えます。今年、東日本旅客鉄道株式会社のご理解のもと、11月14日に東京駅丸の内駅舎南北ドームのブルーライトアップが決定したため、啓発の相乗効果を求めて本企画を実施することになりました。

糖尿病は、血糖値が慢性的に高くなる病気で、子どもから高齢者まで、どの年代の人にかかる可能性があります。厚生労働省がまとめた「平成28年国民健康・栄養調査」では、日本の糖尿病患者数（HbA1c $\geq$ 6.5%）が1,000万人を突破したことが明らかになりました。糖尿病の可能性を否定できない人（6.0% $\leq$ HbA1c<6.5%）を加えると、2,000万人、成人の4人に1人が糖尿病および予備群という状況です。

日本糖尿病協会では、全国展開が始まった「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を受けて、今年の啓発テーマを「重症化予防」に設定し、早期受診と治療継続の重要性を呼び掛けています。本企画が東京駅を歩くすべての世代の方に、糖尿病のことを考える契機になることを願っています。

★世界糖尿病デー関連の情報⇒「世界糖尿病デー公式ホームページ」[www.wddj.jp](http://www.wddj.jp)

\*\*\*\*\*

## ◇本件に関するお問い合わせ◇

公益社団法人日本糖尿病協会 担当：堀田

〒102-0083 東京都千代田区麴町2-2-4 8F

TEL : 03-3514-1721 FAX : 03-3514-1725 email : [hotta@nittokyo.or.jp](mailto:hotta@nittokyo.or.jp)[www.nittokyo.or.jp](http://www.nittokyo.or.jp) / [facebook.com/nittokyo](https://facebook.com/nittokyo)